

42 職員自らメタバースコンテンツを内製。職員採用PR動画にも活用【東京都町田市】



- 安価で、使いやすいAI・アバター・メタバースなどのトレンド技術を組み合わせ、「お役所仕事」を変えるDXプロジェクトを職員自らの手で開始

事業の概要

- 大学との共同研究の成果として、将来、町田市は「行政法人」として、**デジタル社会における生活基盤（＝メタバース的存在）上で、付加価値の高い行政サービスを、国内に留まらず、世界各地へ提供することで、登録者1000万人からサービス収入を得ている状態が予想されている。**
- これを受けて「町田市デジタル化総合戦略」に基づき、2022年4月から、安価で、使いやすいAI・アバター・メタバースなどのトレンド技術を組み合わせ、「**お役所仕事**」を変えるDXプロジェクトを職員自らの手で開始。

デジタル化PR動画
「トレンド技術で“お役所仕事”を変える～AI・アバター・メタバースなどの最新技術による行政DX～」



YouTube

AI音声・アバター・メタバースを活用した職員採用PR動画
第2弾「カウセミールがメタバースで語る、町田のすごさ！」



YouTube

メタバース・LINE・公式ホームページを活用したオンライン行政手続ポータルサイト「まちドア」



LINE



メタバース



市公式HP

AI音声・アバター・メタバースを活用した職員採用PR動画
第3弾「就活生に告ぐ！町田市の試験が受けやすい理由！2022年度下半期試験」



YouTube

42 職員自らメタバースコンテンツを内製。職員採用PR動画にも活用【東京都町田市】

事業効果



- 複数の新聞やニュースメディアへの掲載による「デジタルに強い町田市」としてのシティプロモーション効果が生じた。
- 「新しいことに挑戦できる町田市」を新規採用対象者に訴求できた。
- 町田市のデジタル化政策を広く周知することができた。

コスト



※主にシステム導入等
に係るコストを記載

イニシャルコスト ※税抜	50千円	ランニングコスト(1年あたり) ※税抜	66千円
(内訳) ・動画制作ツール	15千円	(内訳) ・メタバース利用料	66千円
・AI読み上げツール	30千円		
・AI歌声ツール	5千円		
(備考)		(備考)	



スケジュール

検討開始から導入までの期間 2か月

スケジュールの内訳

企画 1か月

制作 1か月



サービス提供事業者等

サービス提供事業者

－（職員が無料または安価なサービスを選定・利用）

サービス名

①VRoidStudio（アバター作成ツール）、②Mobile VOCALOID Editor（AI歌声ツール）、③RecotteStudio（動画制作ツール）、④Voicepeak（AI読み上げツール）、⑤YouTube、⑥MetaLife（メタバース）、⑦Door（メタバース）

運用形態

①～⑤パッケージ製品をオンプレミス環境で運用
⑥⑦パッケージ製品をクラウド環境で運用

その他 参画主体

－



担当部署 町田市デジタル戦略室

電話 042-724-4432

メール seisaku070@city.machida.tokyo.jp

42 職員自らメタバースコンテンツを内製。職員採用PR動画にも活用【東京都町田市】



（総務省）

取組の経緯・きっかけ、概要を教えてください。

町田市の政策提言組織「まちだ未来づくり研究所」で、2020年度から東京都市大学と**共同研究**を行いました。

その中で、町田市は「『行政法人』として、**デジタル社会における生活基盤（≒メタバース的存在）**上で、付加価値の高い行政サービスを、国内に留まらず、世界各地へ提供することで、登録者1000万人からサービス収入を得ている状態」が予想されました。

これを受け、2022年4月から、**安価で、使いやすいAI・アバター・メタバースなどのトレンド技術**を組み合わせ、「お役所仕事」を変えるDXプロジェクトを職員自らの手で開始しました。



（町田市）



取り組んだ職員の方はどのような方ですか。

	職員採用PR動画		市民向けポータルサイト
	AI・アバター・メタバースに関心がある職員	楽曲制作ができる職員	AI・アバター・メタバースに関心がある職員
スキル セット	・情報システム部門5年目 ・メタバースやアバターに関する知識有	***	・情報システム部門3年目 ・メタバースに関する知識は特になし
作業 内容	・アバター制作・メタバース空間の制作 ・動画制作	・動画内の音楽制作	・メタバース空間の制作



他自治体が同様の取組を行う際に参考になると想定される貴市対応内容を教えてください。

■メタバースを活用した職員採用PR動画

- ・東京都デジタルサービス局主催の市区町村アカデミーにて研修講師役となり、他自治体職員向けのハンズオン研修「トレンド技術でプロモーションをDX」を実施し、同様の取組を行う際の方法を横展開しました。
- ・**150分の研修では、参加者全員が、オリジナルのアバターを制作し、1分間のプロモーション動画を制作することができました。**

■メタバースを活用した市民向けポータルサイト

- ・当該メタバースプラットフォームは、Webブラウザ上からマウス操作で簡単にメタバース空間が制作可能なため、メタバースに対する理解がなくても比較的簡単に実装できます。**こだわらなければ30分程度で作成**できます。



42 職員自らメタバースコンテンツを内製。職員採用PR動画にも活用【東京都町田市】



（総務省）

近況や苦勞・工夫している点を教えてください。

■近況

（AI・アバター・メタバースなどの最新技術による行政DXのプロモーション動画）

・ 最新技術を活用した取組を総括したプロモーション動画を、ゲーム開発プラットフォーム（Unity）を活用したミュージックビデオ（ボカロP）として制作しました。

※「デジタル化総合戦略2022ってナニ？ ～AI・アバター・メタバース・最新技術でDX～」

<https://www.youtube.com/watch?v=6dEgUh7UxdM>

（アバターとA I 音声を活用した公開型オンライン会議「町田市デジタル化推進委員会」）

- ・ 国のデジタル化政策に深くかかわる有識者による、デジタル政策の提言
- ・ フルリモート参加型によるオンライン会議 ・ 国の有識者含め、全員アバターで参加
- ・ 議事録作成AIによる作業の自動化（音声からの文字起こし：AWS Transcribe 要約：ChatGPT

【2022年度 第2回】町田市デジタル化推進委員会 <https://www.youtube.com/watch?v=uwTvVgCavrA>

■苦勞・工夫している点

- ・ 全ての要件を満たすメタバースプラットフォームはない ・ ユーザーの端末によっては、うまく動作しないことがある



今後の展望を教えてください。

- ・ 市民が使いやすいメタバースソリューションを活用し、活用領域を広げ、市民に普及している端末（現時点ではスマートフォン・PCを想定）で使えるソリューションを積極的に採用します。
- ・ 当面、Web会議やウェビナーの代替としての利用を主なターゲットとしてメタバースを推進します。
- ・ 当面は簡単に・安く・すぐに使えるソリューションを組み合わせ、調査研究の一環として自前で運営していきます。
- ・ メタバースに限らず、急成長中のAIサービスも組み合わせ、先端技術として包括的に調査研究・実証実験を進めます。
- ・ 今後、スマートフォンに代わり、AR端末が普及するといった最新動向を注視し、合理的な活用を積極的に進めます。

☆担当：町田市 デジタル戦略室 ☆



（町田市）



【参考情報】 町田市人口：43.1万人（令和5年1月1日現在）

関連URL：町田市のデジタル化に関する取り組み（<https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/keiei/jouhouka/index.html>）

東京都・区市町村CIOフォーラム

【東京デジタルアカデミー】行政課題対応・ハンズオン研修「トレンド技術でプロモーションをDX～AI・アバター・メタバースの活用～」を開催しました
（https://note.com/tokyo_cio_forum/n/nd320c6c1bd5d）

受賞歴等：政策コンテスト「マニフェスト大賞」のコミュニケーション戦略賞・優秀賞に選出（2022年度）

令和4年度 夏のDigi田甲子園 本選出場（<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/archives/koushien/chiiki/tokyo.html>）

「Tokyo区市町村DX賞」実装部門第1位を受賞（令和4年度）

42 職員自らメタバースコンテンツを内製。職員採用PR動画にも活用【東京都町田市】

参考資料

東京都デジタルサービス局主催 市区町村アカデミー
研修「トレンド技術でプロモーションをDX」資料抜粋

